

6月2日（火）から、生徒全員が登校する通常授業が再開されました。久しぶりに学校に大勢の生徒たちの声が響き渡り、学校に活気が戻ってきました。今週いっぱいには午前中3時間授業となります。2日（火）は、すべての学級の実質的な学級開きの日となりました。入学式以来、はじめて学級の全員が揃った1年生は、サイコロトークによる自己紹介や学級組織づくりを行いました。これから本格的に始まる中学校での生活に慣れ、思い出に残る中学時代になればと願います。また、2，3年生は、今まで出した課題の回収やこれまで実施できなかった実力テストの時間を設けました。例年よりは学校で生活する時間は短くなりましたが、2，3年生にとっても、これからの中学校生活が手応えのあるものになればと思います。来週からは、給食や部活動も再開されます。部活動はしばらくの間、限られた時間での活動になりますが、生徒たちが充実した活動ができるように全力で支援していきます。



【中学生のころ】（第5回）

第3学年主任 村井 悟

プロボクシング、ヘビー級の絶対王者だったマイク・タイソンがKO負けした。それを鮮明に覚えている。休み時間に友達とマイク・タイソンがマットに崩れ落ちる姿を真似していた。

部活動は野球部だった。練習のために素振りをしてはいたが、それよりもいかに強そうに見えるか、打てそうに見えるか、構えの研究を日々していた。

養護教諭 君島 亜希子

私の中学生のころの思い出は部活動です。私は、バスケットボール部に所属していました。

2年生の新人戦から世代交代し、私たち中心のチームになりました。しかし、公式戦でも練習試合でも勝つことができない弱小チームでした。私たちの目標は『総体1回戦突破』でした。朝練や普段の練習メニュー、基礎体力づくりなど、顧問の先生やチームの仲間と一から考え直しました。体調が悪くなるような辛い練習をしたことをよく思い出します。

その結果、目標を達成することができました。1回戦の勝利なのに、仲間と優勝したかのように喜びました。しかし2回戦は、ボロ負け。私たちの部活動は終わってしまいました。

優秀な結果も大切ですが、私は仲間と共に練習し、励まし合った日々が一番の思い出です。そして、今年の1月にその時の仲間とフルマラソンを完走することができました。あの時と変わらず嬉しかったです。

